**令和７年度　百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議**

**事業計画・予算（案）**

**Ⅰ　保存活用会議運営に係る総合調整【予算額　1,751千円】**

同会議を開催し、「資産等保存管理事業」や「来訪者対策事業」の取組方針、予算・等を審議・決定する。

また、大阪府及び地元3市の世界遺産、文化財、都市計画等の関係部署の職員からなる「資産専門部会」、「緩衝地帯専門部会」、「来訪者対策専門部会」の3つの専門部会を開催し、今後の百舌鳥・古市古墳群の保存管理の具体的な対応等について協議を行う。

**Ⅱ　資産等保存管理事業【予算額　8,393千円】**

世界遺産一覧表記載推薦書の付属資料としてユネスコに提出した「包括的保存管理計画」や、第43回世界遺産委員会における登録決議文の「追加的勧告」で求められた内容をふまえ、百舌鳥・古市古墳群の保存管理を適切に行う。

**１　遺産影響評価（ＨＩＡ）の対応**

令和６年度に実施した史跡整備基本計画の遺産影響評価報告にはユネスコからの回答が想定され、それに対する対応を適切に行う。

**２　モニタリングの実施**

資産や緩衝地帯等の保存管理状況、来訪者への対応等についてモニタリング（経過観察）等により評価を行う（古墳や周辺環境の写真による定点観測、来訪者数の把握等）。

**Ⅲ　来訪者対策事業【予算額　17,252千円】**

2025年大阪・関西万博の開催年であり、これを機とした多くの来阪者の増加を見据え、古墳群での受入環境整備などを通し、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を国内外に向けて発信する。

**１　価値理解促進イベント**

歴史と文化を活かしたまちづくりを推進するという世界遺産登録の意義を伝え、古墳群を人類共通の財産として守り、後世へ継承し、大阪唯一の世界遺産の価値理解をより効果的に促進するためのイベントを実施する。

**２　来訪者受入環境整備**

実際に古墳群を訪れた方の受入環境整備として、古墳群での周遊コンテンツを制作・導入し、それに連動したイベント（情報発信）などを行いながら、現地ならではの価値理解促進を行う。

**３　ホームページの運営**

百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を多くの方々に知っていただくため、親しみやすく、わかりやすいホームページの運営に取組む。

**４　PRツールの作成**

百舌鳥・古市古墳群の世界遺産としての価値や魅力を伝えるPRツールの充実・作成を行う。

**５　民間等連携事業・世界遺産学習会等の開催**

民間企業等と連携・協力し、百舌鳥・古市古墳群の情報発信事業を実施する。また、府内市町村や学校と連携し、百舌鳥・古市古墳群や世界遺産に関する理解を深めていただくための学習会を開催する。